

第41期 棋王戦

予選特選譜
第2局

先五段 山本 真也 (43歳)

全日本アマ名人

城間 春樹 (38歳)

【第3譜】 (図は△6四銀まで)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
香	桂					桂	王	香
		飛				銀	銀	歩
歩		歩	歩	金	銀	歩		
					歩			歩
					歩			
歩		飛	歩	歩				
		桂	銀	角	金	歩	歩	玉
							銀	桂
香					金			香

一 二 三 四 五 六 七 八 九

【指了図】 (図は▲7九角まで)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
香	桂					銀	桂	王
		飛				銀	銀	歩
		歩	歩	歩	歩	歩		
						歩		歩
						歩		
歩		銀		歩				
		飛	桂		歩	歩	玉	歩
				金		銀	桂	香
香		角			金			香

一 二 三 四 五 六 七 八 九

消費時間 1時間55分
指し手59手
持ち時間 各4時間

▲山本 歩

▲山本 なし

- ▲8五歩1 ○同 歩16
- ▲6五歩3 ○5三銀4
- ▲6六銀31 ○4一銀16
- ▲8四歩5 ○8二飛
- ▲7五銀 ○3一銀右3
- ▲2六歩1 ○4一角5
- ▲6四歩 ○同 歩
- ▲9六歩1 ○9四歩4
- ▲7九角3

こんな場面は...

山本は故北村文男七段門下。三十数年前、関西将棋会館が大阪市阿倍野区にあった時代のこと。北村七段は旧会館の近くに将棋センターを開いていた。そのときアルバイトで手合係をしていたのが当時、奨励会

員だった筆者。そして、お客さんだったのが小学生の山本だった。おとなしい少年で、アマ四段ぐらいはあったと記憶している。将棋も何局か指したが、そのころはまだプロ棋士になれるような才能は感じなかった。そのあと、の努力と頑張りで見事に花が開いたが、いつの間にか中堅からベテランの域。若手の勢いに負けないように、頑張ってほしい。

図から直ちに▲6五歩は、▲7五銀の奇手を山本は恐れた。以下▲同飛○7四歩▲7六飛○7五歩▲6六飛○同角▲同銀○7六歩。瞬間的には銀損だが、

実戦的には穴熊ペースか。ところが、感想戦で読み筋を披露すると、この日対局だった安用寺孝功六段に「▲7四歩のときに▲8三銀で振り飛車良しでは？」と指摘されてびっくり。「それなら単に▲6五歩でしたね。本譜は▲8五歩の突き捨てが余計」と山本はいう。

実戦は▲6六銀から押さえ込みにかかったが、穴熊がどんどん堅くなっている。指をくわえて見ているしかなかった山本は「私のプランはこんな展開ではなかった。この戦型は二度とやりません」とぼやいた。

(野間俊克)

H 1 5 年 5 月 1 4 日 掲 載